



7月25日(金)、令和7年度地域支援センター特別支援教育研修会を本校で行いました。

講師に、国立大学法人 横浜国立大学教育学部 特別支援教育講座教授の徳永亜希雄先生をお招きして、『肢体不自由を含む重複障害児の理解及び指導と支援の検討』についてお話をいただきました。

自身の好きなものを紹介し合う演習を行い、実際に担当している児童生徒の「興味・関心」や「好き・嫌い」について考えました。「なぜ好きなのか」、「なぜ苦手なのか」を触覚や、聴覚などの感覚の視点から捉えて、実態把握の在り方について考えることができました。

また、合理的配慮と ICF についてお話がありました。「障がいのない子どもたちと同じように学習する土台を揃える」ことで、その効果の検証と見直しを行いながら、子どもの学びを保証するということを再確認し、合理的配慮の在り方と、そのプロセスについて考えることが重要であると教えていただきました。

様々な観点から実態把握と目標設定を行い、教師自身も子どもたちが学習に取り組むきっかけの一つとなるように授業づくりに取り組んでいきたいと思います。